

Actions アクションズ

若手医師活動報告

HOPPIE活動報告

～大規模災害 千島海溝モデル、
日本海溝モデルに向けた
災害時母子救護研修の取り組み～

北海道周生期医療救急支援の会(HOPPIE)会長
北海道大学産婦人科学教室助教

さいとう よしひろ
齊藤 良玄



HOPPIEは北海道に勤務する産婦人科医、助産師、救急救命士などで結成した任意団体です。今年度はクラウドファンディングに成功し、皆様の後押しに支えられて活動しています。

【千島海溝モデル、日本海溝モデル】

令和2年4月、令和3年12月に内閣府から発表された「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」に関する資料は、非常に衝撃的な内容です。過去の大規模地震の周期から、この地域での大規模地震

が予測されています。被害想定は表1にまとめました。これらのモデルにおける地震発生時の被害は非常に深刻です。

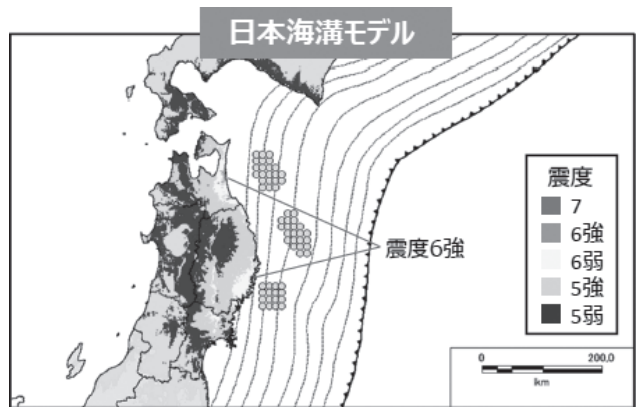
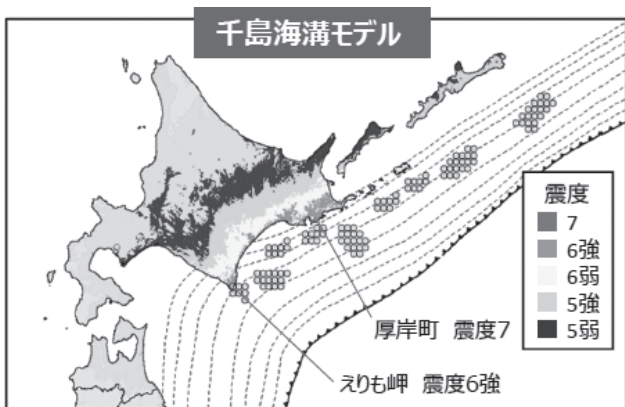


図1. 千島海溝モデルと日本海溝モデル 令和2年4月内閣府資料より引用

表1. 千島海溝モデルと日本海溝モデルの被害概要

	千島海溝モデル	日本海溝モデル
最大震度	震度7（北海道厚岸町付近） 震度6強（北海道えりも岬）	震度6強（青森県太平洋沿岸、岩手県南部）
最大津波高	28 m（北海道えりも町）	30 m（岩手県宮古市）
死者数	約 100,000 人	約 199,000 人
負傷者数	約 6,000 人	約 12,000 人
避難者数	約 487,000 人	約 901,000 人

令和2年4月内閣府資料より引用

令和4年7月に北海道から提出された資料によれば、これらの被害予測において最も影響を受ける市町村は釧路市です。2020年の総人口168,086人のうち、約73,000人の死者が予測されています。ただし、この数字は夜間に地震が発生した場合の予測であり、早期避難率が低い場合を想定しています。早期避難率が高い場合や効率的な津波情報伝達と避難指示が行われた場合、死者数は37,000人まで削減できるという予測です。想定された大規模地震をいかに“減災”するかが鍵となります。

【災害時母子救護研修】

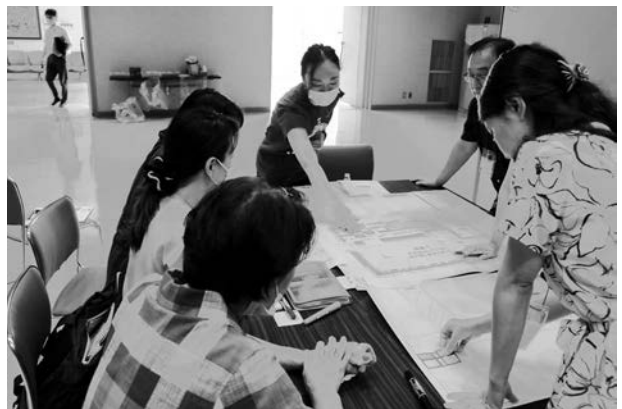
私たちは「災害時母子救護研修」を平成30年から令和5年9月までに5回開催しており、避難所運営ゲームを通して小児・妊産婦が災害時要配慮者であることを広めています。日頃、周産期医療に携わっていない方にとっては、新生児の低体温、妊婦の深部静脈血栓症リスク、また妊産婦が避難所での性被害に遭う可能性などを話題にすることで、小児・妊産婦への配慮を考える良いきっかけになるようです。

この研修で使用する避難所運営ゲームは、元々静岡県職員の職員が考案した机上の災害模擬カードゲームです。避難所に避難してくる住民を受け入れ、どのようにケアするかを考える内容で、非常にシンプルで効果的な災害模擬体験ゲームです。この避難所運営ゲームに冬の積雪や寒さをゲーム条件に入れた「Do はぐ」(HUG, Hinanjo Unei Gameの略)を静岡県の使用許諾を得て北海道が作成し、北海道危機対策課や各振興局で無償で借りることができます。私たちはさらに母子情報カードを増やした内容で、母子救護に焦点をあてた研修会をおこなっています。このような研修会を通じて、小児と妊産婦への救護の意識を高めることが、避難所での“減災”につながり、ひいては医療需要の減少につながる可能性があります。コロナ対策の経験からも明らかのように、どうしても小児、妊産婦は通常の枠組みからは外れがちであり、このことは災害でも同様だと思います。このような活動は産婦人科としての重要な活動だと考えています。

【浦河BLSO、災害時母子救護研修開催】

8月31日、9月1日に浦河町総合文化会館で

「BLSO (Basic Life Support in Obstetrics)」と「災害時母子救護研修」を開催しました。道内外からの講師が浦河町に集結し、BLSOでは病院前周産期救急のシミュレーション教育とチーム医療について、災害時母子救護研修では高知県の災害の取り組みや東京での災害時小児周産期リエゾンの取り組みの講演の後、避難所運営ゲームで母子救護の重要性について学びました。公的な施設ではクーラーの設置がなく、暑さが厳しい状況でしたが、役場、保健所、病院前救急、周産期の顔の見える関係づくりができて有意義な2日間となりました。会場や宿泊手配などは浦河町職員が担い、資金は浦河町、WIND(北海道大学産婦人科学教室)、HOPPIEクラウドファンディングで調達し、『地域住民の、地域住民による、地域住民のための』研修会となりました。住民の健康を守るための研修会が、一つの医療機関で主導するのではなく、住民、行政、医療機関が連携し共同で開催できたことは、まさに理想的な研修会でした。今回ご協力いただいた浦河町には深く御礼申し上げます。このような傾向が北海道内の他の地域にも広がることを強く期待しています。



災害時母子救護研修 浦河町, 2023年9月

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています



<問い合わせ先>

北海道医師会 事業第一課

TEL 011-231-7661

<http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html>

日本医師会電子認証センター

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです